

## 式辞

まばゆい陽光が降り注ぎ、かぐわしい草花の香りが大地に満ちあふれ、ものみな萌え出づる春の良き日、兵庫県立三木北高等学校に入学されました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは中学を卒業され、今日から高校生になります。一昨年改正された民法により、2022年4月からは18歳で成年となるため、皆さんは高校3年生で法律的に大人とみなされるようになります。

皆さんは人として自立する時を迎えたということです。自立とは何でしょう。自立とは人に依存せず、何でも自分一人のできるようになることと考えてしまうかもしれませんが、その考えは正しくありません。

実は逆で、自立とは自分一人できるとか自分一人でやらないといけないという考え方から解放されることです。一人で何もかもできる人はいません。皆さんが着ている制服も、座っている椅子も、今朝食べたパンも、他の誰かが作ったものです。人は誰もたくさんの人と依存し合い、支え合って生きています。

また、たった一つの思想を絶対的に正しいと思いこんで他の考え方を聞き入れなかったり、たった一人の人物を絶対的な存在だと思い込んで自分の全てを依存してしまったりすることも自立ではありません。

自立とは、自分一人の考えや、たった一つの思想、たった一人の人物が絶対的に正しいと思うのではなく、世界には多様な考え方や正しさがあることを知ることです。言い換えればたくさんの依存先を見つけることです。

そのためには、視野をできるだけ広げる必要があります。本校でた

くさんの友達や先生と出会い、勉強し、多くの本を読むことはもちろんですが、地域や大学や図書館などに出かけて行って体験研究活動やボランティア活動を行いながら多様な人々から学んでください。そこにはいろいろな考え方があって、様々な活動がなされていることがわかるでしょう。自分一人でできることはたかがしれている、たくさんの人に支えられているということを実感することができます。そんなふうに関係が依存できる、自分を支えてくれる人や場所や考え方を増やして行ってください。そして、多様な考え方があることを知った上で、自分の頭で判断してください。良いか悪いかの判断を他の誰かに委ねてはいけません。それが自立です。

やがて皆さん自身も、高校で勉強して蓄えた力で、どこかの分野で誰かの支えになれる、社会の支えになれる人に成長してほしいと思います。皆さんが本校でたくさんの方のことを学び、自立した人間に成長されることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。これから学校は、保護者のみなさまと手を携えて、お子様の教育に取り組んで参りたいと存じます。本校教育活動、育友会活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

二〇二〇年四月八日

兵庫県立三木北高等学校

校長 吉田 尚美